

【分野名：医学系】

大 学 名	徳島大学
拠点のプログラム名称	多因子疾患克服に向けたプロテオミクス研究
中核となる専攻等名	医学研究科プロテオミクス医科学専攻
拠 点 リ ー ダ ー 名	松本 俊夫
<p>《拠点形成の概要》</p> <p>多因子疾患は、社会の高齢化や生活習慣の変化などにより患者が急増し、死因や医療費の上位を独占するに至っている。したがって、その克服は21世紀医学の最重要課題である。本拠点では、骨粗鬆症・糖尿病などの代謝疾患、アレルギー・膠原病などの自己免疫疾患、癌転移を主要標的とした腫瘍疾患等、多因子疾患を幅広く取り上げ、基礎系・臨床系研究者を統合した集学的な研究教育体制の下で、疾患プロテオミクスという新しい切り口から病因の解明や新たな診断・治療法の確立を図る。この研究教育拠点を構築するために、検体・試料の集中的な収集・管理、供給体制を確立すると共に、膨大な遺伝・環境要因の組み合わせに基づく多因子疾患に対して、細胞内蛋白の多様な量的・質的变化を最先端のプロテオミクス・機能ゲノミクス技術を駆使することにより網羅的に解析する。これらを通じた新しい疾患プロテオミクス研究の展開により、臨床・基礎研究者が直接問題点を共有しつつ、人材、知識、技術、装備等の知的・物的資源を集約した集学的アプローチを可能とする拠点の形成を推進する。こうして多因子疾患の本態へと迫る</p> <p>わが国唯一の疾患プロテオミクスの統合研究教育拠点の形成を通じて、21世紀の生命科学・医学研究をリードする優れた着想と新しい技能を備えた人材の育成を図ることが本拠点形成の目的である。</p>	

